

寸言

イーグル工業株式会社
代表取締役社長
鶴 鉄二



荒鷲は大空へはばたく

イーグル工業株式会社は1964年東京オリンピックが開催された年に、NOK株式会社とアメリカのメカニカルシールメーカーであるシーロール社との合併事業として設立されました。設立当初の社名は「日本シールオール株式会社」で、NOK株式会社から移管された自動車用メカニカルシールとシーロール社の一般産業機械用メカ、更にはシーロール社が手がけていたジェットエンジン用メカニカルシールが商品群に加わりました。当社がエアロスペース産業に軸足の一つを置く事になった所以であります。所がその後メカニカルシール業界にも合従連衡の嵐が吹きまくり、アメリカのシーロール社も身売りされ、弊社もイーグル工業と名前を改め、その後東京証券取引所第一部に上場され今日に至っております。21世紀に入ってからドイツのメカニカルシールメーカーであるブルグマン社と技術・製造・営業更には資本分野を含む全面提携を行い強固なアライアンス関係を構築し、世界三大グローバルメカニカルシールプレイヤーの一角を形成しております。

売り上げは1,000億円には届かないスモールカンパニーであり、売り上げの約半分が自動車業界向け、その半分が一般産業機械業界向け、その半分が造船業界向け、さらにその半分、約数十億円がエアロスペース業界向けとなっております。山椒は小粒でもピリリと辛い存在で、自動車、原子力発電、石油精製・石油化学、半導体等の業界で鍛えられ且つ磨かれて来た

技術力、高品質管理レベル、モノ造りの力を集大成し最も精緻で最先端に位置するエアロスペース用軸封装置の開発のみならず、各種周辺機器の開発や国産化のお手伝いもさせて頂いております。

さて、ロケットや衛星、ジェット機等は飛行物体ではありますが、弊社も実に空を飛翔する事にふさわしい社名となっております。イーグルとは鷲の事でアメリカの国鳥です。当社の初代社長はNOK株式会社の実質上の創始者で小生の父にあたる鶴 正吾であります。英語で鶴はCraneで、起重機のクレーンも鶴から来ています。当社が社名を日本シールオールから変更した時も、真っ先に挙げた候補はクレーン社でありました。所がご存知かと思いますが、メカニカルシール業界にはジョンクレーンと言う怪物が居り、それではクレーンより強い鳥は何だと言う事になり、当時ワンマン社長であった鶴 正吾が「クレーンに勝つのはわししかおらんだろう。」という発言が決定打となりワシ、すなわち鷲が当選、直ちにイーグル工業という名前が新社名になったと言う何かうそ臭い話も残っております。いずれにせよ当業界において何かと飛びたがる鳥類の様な会社がある事をご記憶頂ければと思います。

最近は何れにもう一羽別の鳥類で呼ばれる事も間々あります。「おーい、鷲ー!」「やだなあ、僕は鷲じゃないよ、鶴だよ。」